

アカイトトリノフンダマシ *Cyrtarachne yunoharuensis* Strand

【選定理由】

県内では、もともと個体数が少ない種であることに加え、土地開発等に伴う林縁部の笹原や草原等の生息適地の消滅も減少に拍車をかけている。

【形態】

体長雌 5~7mm、雄 1.5mm。背甲は濃赤褐色。腹部は赤色地に白斑が目立つ。その最広部の左右に1対の黒点がある。また、腹部背面が黒色の個体(黒色型)、黒色で後方部が暗赤色の個体(ソメワケ型)など色彩変異が見られる。



豊田市(旧藤岡町)上川口町, 2008年8月9日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

里山から山地に広く分布する。いずれの産地でも単独か数個体と少ない。

国内では、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

【生息地の環境/生態的特性】

林縁部の笹原やスキの草原を好み、日中はそれらの葉裏に静止している。夕方から活動を始め、同心円状の水平円網を張り、主として蛾の仲間を捕らえる。

【現在の生息状況/減少の要因】

もともと個体数の少ない種である。生息環境の開発で減少傾向にある。

【保全上の留意点】

開発に際しては、生息場所を残すこと。また、管理地などでの除草剤や農薬などの散布も慎むべきである。

【特記事項】

従来ソメワケトリノフンダマシと呼ばれていたものは、本種の色彩変異である(A.Tanikawa, 2001)。

【引用文献】

Akio Tanikawa, 2001. Tow new synonymies of the spider genus *Cyrtarachne* (Araneae:Araneidae). *Acta arachnol.*, 50(1): 87-89.

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.82,216. 偕成社, 東京.

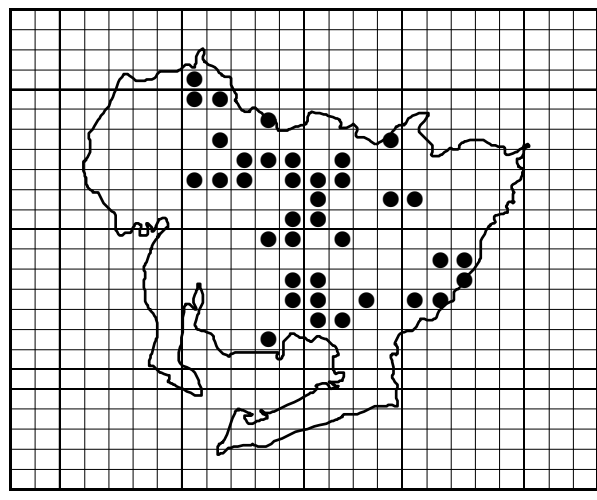
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.110. 保育社, 大阪.

新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.163. 文一総合出版, 東京.

小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.428,623. 東海大学出版会, 神奈川.

小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.169,514. 東海大学出版会部, 神奈川.

県内分布図



(緒方清人)